

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成19年12月20日 第26号

CONTENTS

1 コラム

【1】『施主と木材流通との接点』（高橋経営課長）

2 当庁の動き

【1】気候変動枠組条約第13回締約国会議（COP13）等の結果について

【2】平成19年度「国有林野事業業務研究発表会」（第40回）の開催結果について

3 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

4 その他に関する情報（イベント情報等）

イベント情報

【1】尾瀬国立公園記念式典「尾瀬から地球環境へのメッセージ」

【2】2007 文教施設フォーラムセミナー2「木材を活用した学校施設に関する講習会」

【3】シンポジウム「木づかいによる林業再生」

【4】地球温暖化防止と森林に関するシンポジウム

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 コラム

【1】『施主と木材流通との接点』（高橋経営課長）

今回は、高橋（たかはし）経営課長より『施主と木材流通との接点』と題して、木材流通の川上と川下についてお話しします。

新宿西口のある高層ビルの3階から8階に、OZONEという、インテリア・ショールームや、イベントホール、資料館等を整備した「家づくり」の総合支援センターがあります。6階と7階にある「情報バンク」には、建材や家具として使用されることの多い国内外の木材や石材の実物サンプル約290点があり、色調や木目の違い等を目で見てさわって比較できるようになっています。更に、床材、壁材等を含め約800社、7,000冊の製品サンプル・カタログを閲覧できるほか、シックハウスと構造材・内装材の関係について家の模型等を使って分かり易く解説したスペースもあります。つまり、ここは、実際

に家を建てたり、マンションを購入しようとする最終ユーザーと施工業者との情報の「接点」を総覧できる場所と言えます。木材の流通構造は複雑・多岐にわたり、川下のニーズは川上からは極めて見えにくいですが、このような川下の「接点」において、(1)まず、サンプル・カタログの中に選択肢として存在し、(2)他の材・商品と比較して分かり易いアピールポイントがあることが、国産材の販路確保のために必要です。そういう問題意識でOZONEを覗いてみる手もあるかもしれません。

## 2 当庁の動き

### 【1】気候変動枠組条約第13回締約国会議(COP13)等の結果について

12月3～15日に、インドネシアのバリで、気候変動枠組条約第13回締約国会議(COP13)及び京都議定書第3回締約国会合が開催されました。森林に関しては、途上国における森林減少問題等について合意しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kenho/071217.html>

### 【2】平成19年度「国有林野事業業務研究発表会」(第40回)の開催結果について

林野庁では、現場業務の実行を通じて得られた森林の整備手法の確立、国民参加の森林づくり、森林環境教育支援等に関する研究成果を広く一般に普及するため、森林管理局や地域関係者による業務研究発表会を11月27日に開催しました。

成績優秀なものについて以下のとおり表彰を行いましたのでお知らせします。

#### 1. 森林技術部門

東北森林管理局

課題名：「スギ若齢人工林のヒバ混交林への誘導について」

#### 2. 森林ふれあい部門

中部森林管理局

課題名：「地域と連携した環境教育・環境保全の取り組み」

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/gyoumu/071129.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/index.html>

## 3 緑化に関する情報

### 【1】森林ボランティア活動情報

## 森林ボランティア活動の情報

全国各地でボランティアによる森林づくり活動が活発に行われています。  
(社)国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

森づくりのサポート組織「森づくりコミッション」の第2次公募がはじまっています！  
企業やNPO等が森づくりに参加しやすい環境をつくるため、各地域の森づくり活動支援組織「森づくりコミッション」( )の登録及び支援事業の第2次公募を(社)国土緑化推進機構において行っています。

第2回の締め切りは平成20年1月18日(金)となっていますので、森づくりコミッションの機能を有している団体の方、または森づくりコミッションを立ち上げようとしている団体の方はぜひご登録下さい！

(森づくり活動支援組織「森づくりコミッション」とは、森林ボランティア団体、企業関係機関等との橋渡しや企画・提案などを行い、森づくり活動をコーディネート、サポートする組織です。)

登録等の申請について、詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/>

## 4 その他の情報 (イベント情報等)

### イベント情報

#### 【1】尾瀬国立公園記念式典「尾瀬から地球環境へのメッセージ」

本年8月30日、全国29番目の国立公園として「尾瀬国立公園」が誕生しました。

開山より117年の歴史を持つ尾瀬において、その保護と適正利用に力を尽くした方々に感謝の意を表するとともに、21世紀の新しい国立公園尾瀬が地域とともに歩み、地球環境に対して果たし得る役割を考えます。

開催日 平成19年12月23日(日)  
場所 日本消防会館 ニッショーホール(東京都港区虎ノ門)  
主催 尾瀬国立公園記念事業実行委員会

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://ozeivent.blog105.fc2.com/blog-entry-49.html>

#### 【2】2007 文教施設フォーラムセミナー2「木材を活用した学校施設に関する講習会」

学校施設は、耐震性の向上、老朽施設の解消、学習内容・方法の変化への対応、環境への配慮、バリアフリー化、防犯対策等、様々な課題に対応し教育環境の改善・充実を図る

ことが求められています。

このような状況を踏まえ、文教施設施策の説明、専門家等による講演、事例紹介などを通じて実践的な情報を普及し、安全で豊かな学校づくりを推進する説明会を開催します。

開催日 平成20年1月17日(木)～18日(金)  
場所 石川県女性センター(石川県金沢市)  
主催 文部科学省

詳しくは、こちらをご覧ください。

[http://www.rief.or.jp/jigyoku\\_forum.html](http://www.rief.or.jp/jigyoku_forum.html)

### 【3】シンポジウム「木づかいによる林業再生」

木材利用の促進によって森林の生産サイクルが循環する仕組みづくりを広く普及・啓発し、消費者サイドに立った日本林業再生の道を模索するために、地域材利用に取り組んでいる現場の取組に焦点を当て、「地元で育てた木を、地元で使う」をテーマに開催します。

開催日 平成20年1月19日(土)  
申し込み締め切り 平成20年1月11日(金)  
場所 京都キャンパスプラザ(JR京都駅前)  
主催 NPO法人 木の木、森林・木材・環境アカデミー

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.sainoki.org/info14.html>

### 【4】地球温暖化防止と森林に関するシンポジウム

森林は、木材資源の供給、水資源のかん養、国土の保全、植物を育むなど人類社会の生存基盤を支える多面的な機能を有しています。また、地球温暖化防止のための有効な方策として森林の整備、保全が進められています。

このため、地球温暖化による森林への影響、森林吸収源対策の現状や企業等における取組等をテーマにシンポジウムを開催します。

開催日 平成20年1月25日(金)  
申し込み締め切り 平成20年1月11日(金)  
場所 東京国際フォーラム ホールD5  
主催 社団法人 産業と環境の会

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.sankankai.com/symposium/h200125.htm>

## 編集後記

今年もあと少し。皆さん風邪などひいていませんか。

農林水産省7階に林野庁の中央展示があります。来週25日からは、お正月用の飾り付けを行います。来年の干支の子(ねずみ)を始め、凧、杵と臼、琴などのお正月にまつわる木製の小物を置いて、新年を迎えます。

皆さんにとって今年はどうな1年でしたか。また来年どんな1年にしたいと思いますか。皆さんにとって来年が良い1年になりますように。

来年も「森林(もり)づくりと木づかいの便り」をよろしく願います。

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

## ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/index.html> をご覧になり、

「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

## 編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

林野庁 広報室

TEL 03-3502-8026

E-mail :

[https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM\\_NO=82](https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82)

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の受付及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで受付をお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

#### メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/can.html>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

#### パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>